

一般質問

議員の知見と活動の集約

一般質問は、町政全般にわたって、議員個人が執行機関に質問し見解を求めるものです。議員の知見と活動の集約であり、議会活動の「花形」とも言われています。吉岡町議会では、質問・答弁をあわせて、1人60分以内の持ち時間があります。



▲本会議の様子を生中継録画でも配信



■山崎 守人 議員 …………… 11 ページ

1. 上位大会に出場する際の町の対応は
2. 楽器購入・修理の新たな施策は

■坂田 一広 議員 …………… 16 ページ

1. 「将来に責任ある行政」についての考えは
2. 国指定史跡に向けた活動は

■富岡 大志 議員 …………… 12 ページ

1. 臨海学校の再実施を
2. 「音楽の町」でプロモーションを

■小池 春雄 議員 …………… 17 ページ

1. 高齢者を敬う精神はどこへ
2. リバートピア吉岡の利用料値下げを
3. 学校給食の無償化を

■秋山 光浩 議員 …………… 13 ページ

1. 保護司の安全対策の協力依頼は
2. スマート IC 名称変更は

■飯塚 憲治 議員 …………… 18 ページ

1. 保育園などの待機児童対策は
2. 吉岡バイパス延伸 未着手なぜか

■飯島 衛 議員 …………… 14 ページ

1. コロナワクチンの助成で負担は
2. 高齢者に見守りライトを

■藤多 ゆかり 議員 …………… 19 ページ

1. 幼保小の架け橋プログラムの取り組みは

■大井 俊一 議員 …………… 15 ページ

1. 小・中学生の郷土愛の育み方は
2. 小・中学生の熱中症対策は

■宮内 正晴 議員 …………… 19 ページ

1. 駒寄スマート IC 南交差点 右折信号の設置は

■富岡 栄一 議員 …………… 20 ページ

1. 産業団地関係者アンケート状況は

上位大会に出場する際の町の対応は



やまざき もりひと
山崎 守人 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 上位大会出場に要する経費を補助

吉岡中の部活動で郡大会・渋川広域大会以上の上位大会に出場する際、町ではどのような対応が取られているか。

答 町では、保護者負担の軽減策として、中体連主催または共催、もしくは後援する県大会および県大会よりも上位大会への出場に要する交通費・宿泊費・物品運搬費・参加料などの経費を補助している。補助金交付の対象は、登録選手・監督・コーチおよび、練習などに必要な最少人員の児童・生徒。そのほかの生徒・保護者については派遣支援の対象外としている。

問 吉岡中の部活動で郡大会・渋川広域大会以上の上位大会に出場する際、町ではどのような対応が取られているか。

答 町では、保護者負担の軽減策として、中体連主催または共催、もしくは後援する県大会および県大会よりも上位大会への出場に要する交通費・宿泊費・物品運搬費・参加料などの経費を補助している。補助金交付の対象は、登録選手・監督・コーチおよび、練習などに必要な最少人員の児童・生徒。そのほかの生徒・保護者については派遣支援の対象外としている。



保護者の経済的負担軽減を

問 過去に登録外選手の移動でマイクロバスの利用を許可していると答弁しているのに、実行されていないが。

答 町長の意図どおりに実行できなかった。改めて、町長の考えと町マイクロバスの利用規程に基づき、登録外選手や部員のマイクロバス利用について条件などを整理確認し、明確にしたいと考える。

問 大会を体験させる教育的な配慮や、保護者の経済的な負担軽減のため

答 大会を体験させる教育的な配慮や、保護者の経済的な負担軽減のため

問 吹奏楽部は大会出場の際、楽器の数が足りず、他校から貸与を受けている。楽器の購入・修理のための新たな施策があるか。

答 新たな施策として、令和6年度はクラウドファンディングを利用して寄付を募り、楽器購入に充てたいと考えている。

問 目標金額は。

答 ふるさと納税サイト2社を利用し、それぞれ100万円、合計で200万円を想定している。

問 吉岡中卒業生から音楽に関わりたいが、その機会がないと聞いた。町民

に、支援が必要と考えるが。

答 マイクロバスの利用とともに、保護者の経済的負担軽減のための支援を今後検討していきたい。

答 楽器購入・修理の新たな施策はクラウドファンディングを利用

問 吹奏楽部は大会出場の際、楽器の数が足りず、他校から貸与を受けている。楽器の購入・修理のための新たな施策があるか。

答 新たな施策として、令和6年度はクラウドファンディングを利用して寄付を募り、楽器購入に充てたいと考えている。

問 目標金額は。

答 ふるさと納税サイト2社を利用し、それぞれ100万円、合計で200万円を想定している。

問 吉岡中卒業生から音楽に関わりたいが、その機会がないと聞いた。町民

機会がないと聞いた。町民

答 音楽を愛好する同士が集い、大きく成長し、ひいては吉岡町は音楽活動ができる町として、認知されることを願っている。

問 今後その活動が広がれば、吉岡町は音楽活動ができる町として認知されることを願っている。

活動で音楽に特化した活動はできないのか。

答 住民参加型事業として「よしおか手作り講座」がある。講座に音楽経験者に応募してもらい、活用ができるのではないかと考える。

問 今後その活動が広がれば、吉岡町は音楽活動ができる町として認知されることを願っている。

答 音楽を愛好する同士が集い、大きく成長し、ひいては吉岡町は音楽活動ができる町として、認知されることを願っている。



クラウドファンディング始まる

臨海学校の再実施を



とみおか たいし
富岡 大志 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 まだ手を付けられない状況



現在は宿泊体験学習を実施している
(画像提供：国立赤城青少年交流の家)

問 現在、町は施設の廃止を理由に臨海学校を実施していない。しかし、町子どもたちにとって海は身近なものではなく、海での体験はなかなかできないので、臨海学校の再実施を求めたいが。

答 臨海学校は、現在は「国立赤城青少年交流の家」

ミニ解説

※シティープロモーション
地方自治体が地域の魅力を内外に発信し、地域の知名度・イメージを向上させ、地域へ人・物・金を呼び込み地域経済を活性化させるための広報・営業のことです。

答 実施しているところがあることは知っているが「家」での自然体験の実施に変更している。海と山での実際の体験の違いについては十分認識しているが、安全確保をはじめ検討すべきことが多岐にわたるため、重要性は認識しているがまだ手を付けられない状況。

問 ラーケーションは、ラーニングとバケーションを組み合わせた造語で、子どもに学びを目的とした休暇の取得を認める制度。愛知県内で導入が進んでおり、子どもが保護者と一緒に学校外での体験活動を通じて学びを深めることができる。この制度の導入を提案したいが。

が、まだ詳しい調査はしていない。情報収集をしたい。「音楽の町」でプロモーションを町づくりの提案として受け止める

問 吉岡中では全校生徒の1割以上が吹奏楽部員。これから大人になっていく子どもたちの1割が楽器演奏を楽しむ町になる。そこで、これを地域資源とし、音楽の町としての※シティープロモーションをしようか。

答 中学生の日常的な積み重ねが町の活性化につながっていく発想。そういった提案をいただくに至ったことは、教育の大きな成果だと評価されていると捉え、町として大きな誇りに感じている。中学生の音楽面、特に吹奏楽部の活躍を起爆剤として、吉岡町を音楽の町として地域のブランド化するためには、吹奏楽を中心とした、音楽を楽

答 子どもたちに新たな負担がないような形で実施したい。

問 吹奏楽部楽器のクラウドファンディングが実施されることになったが、プロモーションビデオを作って展開してはどうか。

答 しみ、活動する人たちが集うための基盤づくりがまず必要であり、活動を継続できる土台をしっかりとさせていくことが重要。今後のまちづくりにおける1つの提案として受け止めさせていただきたい。



吉岡中吹奏楽部の活躍が町活性化の起爆剤に



あきやま みつひろ
秋山 光浩 議員



録画映像は
こちらをCHECK

保護司の安全対策の協力依頼は

答 国から面接場所の支援依頼があった

問 保護司の身の安全対策には万全を期さなくてはならないが、国や県から指導や協力依頼があったのか。

答 保護司自身の安全確保と家族の負担軽減の観点から、自宅以外の面接場所についての支援依頼が、総務省・法務省連名で発出された。

問 滋賀県で発生した保護司殺害事件などの影響もあり、なり手不足に不安を抱えていると聞くが、吉岡町の現状は。

答 定数は居住地を管轄する保護区ごとに決められている。吉岡町が属する渋川北群馬保護区の定数は

55人だが、現在は5人欠員している状況である。

問 更生保護女性会が、多くの関係団体と連携しながら、非行防止・犯罪防止のための活動をしているが、この活動を円滑に進めていくために、年間200円の募金がある。この募金協力が自治会により大きな差があることを知った。非常に大事な活動をしていることから、全自治会が足並みを揃える必要があると考えるが。

答 募金の趣旨を周知し、協力を呼びかけることは非常に大事なことで認識している。引き続き各団体との協議を続けたい。



なり手不足が大きな課題
(保護司のバッジ)

スマートIC名称変更は 議論されたことはな

問 県内のIC・スマートICの名称は全て市町村名に由来しているが、駒寄だけは例外である。名称変更について、今まで議論などされたことがあるのか。

答 名称変更について議論されたことはない。

問 過去にあった数件の名称変更事例を分析すると、大きな経済効果があるとされている。これから本格的に進める産業団地開発などを併せ考えると、町名を前面に出した町の玄関口が必要と考えるが。

答 39年もの長期間、駒寄という名称を使用してきたこと、さらに名称変更には前橋市との調整も必要となることから慎重な検討が必要と考える。



町名を前面に出した町の玄関口を

問 来年は関越道開通40年、吉岡という名称が生まれて70年、昭和から数えて100年という節目に当たる。3つの節目に合わせ話題性にあふれる2025年に向けて、名称変更してほしいと考えるが。

答 駒寄という名称に愛着を感じている人のことも考慮しながら、さらに経済効果や話題性のことも総合的に併せ考え、いろいろな研究をしていきたい。

コロナワクチンの助成で負担は



いいじま まもる 飯島 衛 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 自己負担は3千円である

ミニ解説

※ユニボイス
印刷物の文字情報を二次元コードに変換したものです。スマートフォンや専用読み取り装置で読み取ることで情報を音声にすることができま

問 高齢者対象のコロナワクチン接種の助成は。

答 自己負担額は、3千円である。また、中学3年生と高校3年生も対象に加えた。

問 視覚障害者の人たちが情報を得やすくするために※ユニボイスがある。

答 町でも導入してはどうか。導入のメリット・デメリットについては全庁的に検討したい。

問 町の有料老人ホームの入所定員の見直しはあるのか。

答 町外から転入してきた人が大多数を占めている状況にあり、大規模施設が必要か検討する余地がある。現状では、定員に対する規定の見直しは考えていない。

問 未舗装の官地は、町が舗装すべきではないか。

答 農地の宅地開発に伴って、未舗装の官地が多く存在している状況である。原則的には、除草などの管理は町が行う。また、要望があれば個人の負担になるが、申請して舗装ができる。



バラスの部分が官地

問 面積の小さな陣場自治会の地域内に、農業振興地域があるが、時代の変遷もあり除外できないか。

答 町では、都市計画の用途指定地域を除いた全域が農業振興地域に指定されている。農用地区域からの除外には、法令上の6つの要件を全て満たす必要がある。

問 吉岡分の産業団地からインターへアクセスする南北の道路建設が必要と思うが、計画に入っているのか。

答 午王頭川に橋を架けて、産業団地と県道南



産業団地の吉岡町の予定地

新井前橋線を結ぶルートを整備する予定である。

問 インターの出入り口に「ようこそ吉岡町へ」などの大きな広告塔を設置し、もっと町をアピールすべきではないか。

答 自治体間の協議も必要であり、設置については今後研究したい。

高年齢者に見守りライ

事業の拡充に向け検討したい

問 以前にも質問したが、高齢者の安心対策として、見守りライトの導入を強く要望したいが。

答 緊急通報システムやごみ出し支援事業など、高齢者の生活支援に安否確認サービスを付帯した事業などを実施しているが、見守り支援をさらに拡充する必要があると認識しており、事業の拡充に向け検討したい。



おおい しゅんいち
大井 俊一 議員



録画映像は
こちらをCHECK

小・中学生の郷土愛の育み方は

答 庁内でも話題にして考えたい



吉岡町スポーツ表彰

問 小・中学生の各種活動を通して郷土愛の育み方は。
答 ヤマダホールディングス陸上競技部の陸上教室や金管部、ねこの手ポランティア活動などがある。ナイター陸上や吉中ボラン



通学用ヘルメット

問 部活動地域移行・自転車通学などに係る熱中症対策は。
答 令和6年5月に吉岡町小中学校熱中症予防ガイドラインを策定。体育大会や運動会の開催時期変

ティア・吹奏楽演奏・合唱などで町民と交流している。スポーツだけでなく、文化面での活躍の功績などをたたえることができないかどうか、庁内でも話題にして考えたい。
小・中学生の熱中症対策は
空調設備設置を研究

問 町内起業者への支援状況は。
答 ふるさと納税を活用した制度も視野に入れ研究したい。

更など危険性と問題点をクリアすべく取り組んでいる。体育館には冷房機はない。空調設備設置について研究を進めていきたい。自転車運転時のヘルメット着用は、通気性・暑さの面で心配。休憩や水分補給などで身を守るよう指導している。熱中症予防の観点からの希望者の通学バス利用は、現段階では難しい。部活動地域移行指導者研修会でガイドラインを参考に、理解と体制づくりを働きかけた。高齢者の移動の支援についての通学バスの活用は町全体の課題として教育委員会としては、協力で



町内起業者が製作した打楽器

きるところは協力したい。子どもの栄養面からの熱中症対策は、相談があれば、必要な情報提供をしたい。

問 アフターコロナにおける、町内行事への安心安全な町民参加は。
答 町単独でのコロナ感染症情報の発信はしていない。地域の文化・人々、ものとの交流の機会を増やしていくことが大切。
問 3歳以上の園児や、ひばりの家利用者の給食費の補助は。
答 ひばりの家の給食は10月から希望者に提供予定。他の児童・生徒と同一とするのが良い。3歳以上の園児への給食費補助は通園していない幼児の保護者との公平性の観点から考えていない。